

# Le Nozze Di Figaro

Opera buffa in quatre atti

1983



*Wolfgang Amadeus Mozart*

■三洲会中国支部設立10周年記念公演 昭和58年度岡山県芸術祭参加 第6回福山市芸術祭 ■1983・10・6 PM6:00福山市民会館 1983・10・16 PM2:00倉敷市民会館  
■主催/三洲会中国支部 協賛/岡山県郷土文化財団・岡山県教育委員会・倉敷市教育委員会・福山市教育委員会・福山文化連盟

二期会中国支部設立10周年記念公演

歌劇

# フィガロの結婚

4幕のオペラ・ブッフア

台本 ロレンツォ・ダ・ポンテ (ボーマルシェの喜劇による)

作曲 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

訳詞 中山 悌一

1983



10・6 福山市民会館

10・16 倉敷市民会館

— 後 援 —

岡山県郷土文化財団 岡山県教育委員会 倉敷市教育委員会  
福山市教育委員会 福山文化連盟



二期会中国支部委員長 近藤 安介

本日は、皆様御多忙中のところを、二期会中国支部設立10周年記念公演オペラ「フィガロの結婚」に御来場賜わり、誠にありがとうございます。皆様の暖かい御支援のお陰で、ここにこうして10周年の記念公演が開催出来ます事を、会員一同に成り代わりまして、心より厚く御礼を申し上げます。

二期会中国支部は、それまで中・四国地方には皆無だった、オペラの灯を明々と燈すべく、昭和48年、24名の会員、準会員により、二期会中四国支部として設立されました。

この間、音楽大学を卒業し、尚且つ厳しいオーディションに合格した会員、準会員は、日々の研鑽と互いの連携を保ちながら、地域文化向上の使命に燃え、着実に活動の場を広げてまいりました。そして本年2月には、立派に成長を遂げた四国地区の仲間の手で、二期会四国支部が誕生、意気揚々と船出をして行きました。喜びでいっぱいでございます。

オペラは御承知の如く、総合芸術であります。あらゆる芸術的要素を含有しなければなりませんし、優秀なスタッフ、キャスト、オーケストラを必要とする上、莫大な経費を伴います。

経済的な苦しさは、設立時より一向に変わりませんが、今回の「フィガロの結婚」も、54年に引き続き演出家・清宮秀高氏、56年の「魔笛」の指揮者・古谷誠一氏、地元で大活躍の倉敷管弦楽団、設立時より大変お世話になっている、大塚舞台。こうした方々のオペラに対する、深い御理解に支えられて、本日を迎えております。

又、10周年を機に、今回初めて、福山での公演を持たせて頂きます事は、福山地区に在住する会員、準会員にとりまして、この上ない励みでありましょうし、福山の皆様に私達のオペラを鑑賞して頂けるのを大変嬉しく存じております。

最後になりましたが、今公演に際しまして、特に、岡山県郷土文化財団、福山市教育委員会各位の御援助を賜わり、感謝に絶えません。ここに御助力頂きました、全ての関係各位に心から御礼申し上げると共に、今後の御教示をお願い申し上げて、ごあいさつに代えさせていただきます。



岡山県教育委員会教育長 宮地 暢夫

二期会中国支部創立10周年記念公演、オペラ「フィガロの結婚」の開幕にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

昭和48年に創設されました、二期会中国支部が今年10周年を迎えられますことを心からお喜び申し上げます。

本支部は常にたゆみない研鑽を積み重ねオペラ公演やゴールデンコンサートに取り組まれ今日では、県内外に多くのオペラファンを持つようになってまいりました。

特に、昭和50年には、オペラ「アマールと夜の訪問者」、昭和54年には、オペラ「海の子守唄」、「炭焼姫」を岡山県芸術祭記念公演として、意欲的に発表されました。

本日はモーツァルトの三大オペラの一つでもっとも親しまれている「フィガロの結婚」の全幕が公演されるわけですが、総合芸術であるオペラ公演発表の種々の困難を乗り越えられ、フル編成のオーケストラをバックに本格的演出がなされますことに深く敬意を表するものでございます。

会場にご参集の皆様、どうかオペラの楽しさを満喫され、明日からの生活のかたとされますようお願いいたしますとともにこの公演を機に本支部がますます発展され本県文化の向上のため今後一層躍進されますことを祈念いたしまして私のごあいさつといたします。



福山市教育委員会委員長 安原 暲

第6回福山市芸術祭は、地方においてはあまり鑑賞する機会のないオペラを取りあげることにいたしました。

この度公演される「フィガロの結婚」は、2年前福山市において文化庁移動芸術祭、二期会公演を開催し、たいへん好評を博しましたものです。今回の芸術祭では、福山地方在住の約20名を含めた二期会中国支部会員の方々が全精力を上げて取り組まれます。二期会中国支部は、10年前に設立され、以来オペラ公演、演奏会等の多彩な活動によって、当地をはじめ中国地方の芸術文化の振興と普及に尽力されております。

このオペラが出来ました18世紀後半のヨーロッパは、フランス革命、人権宣言等のあった歴史の変革時代です。「フィガロの結婚」も、ようやく市民権を得てまいりましたその当時の庶民の姿を生き生きと表現しており、これも興味の一つではないかと思えます。モーツァルトの上品で親しみやすい旋律と軽妙な台詞の折りなす本格オペラをごゆっくりご鑑賞いただきたいと存じます。

芸術祭開催にあたりまして、二期会中国支部の皆さまを始めとする関係各位のご努力に厚く感謝いたします。また、これからも更に地域文化の発展に、皆様方のお力添えをお願いいたしましてごあいさつといたします。

## 10/6 福山公演

●第6回 福山市芸術祭

総監督……………近藤安个  
演出……………清宮秀高  
指揮……………古谷誠一

### スタッフ

装置……………石井みつる  
衣裳……………岸井克己  
照明……………大塚和真  
舞台監督……………田和伸二  
合唱指揮……………日高好一  
舞台……………大塚舞台  
稽古ピアノ……………菊地桂子  
北迫ひとみ  
事務局……………井口毅  
玉垣夫規子

### キャスト

アルマヴィーヴァ伯爵……………黒岩悟  
伯爵夫人……………古賀照子  
伯爵の小姓ケルビーノ……………菅野泰枝  
伯爵の従僕フィガロ……………大原正義  
伯爵夫人の侍女スザンナ……………平本弘子  
伯爵の女中頭マルチェリーナ……………藤井美雪  
医者バルトロ……………秋山啓  
音楽教師バジリオ……………日高好一  
裁判官ドンクルチオ……………中村芳弘  
庭番アントニオ……………(四国二期会) 薦田義明  
アントニオの娘バルバリーナ……………宗盛ゆきみ  
花娘……………稲見仁江・院去浩美

演奏……………倉敷管弦楽団

合唱……………二期会合唱団

10/16 倉敷公演

●昭和58年度 岡山県芸術祭参加

総監督……………近藤安个

演出……………清宮秀高

指揮……………古谷誠一

キャスト

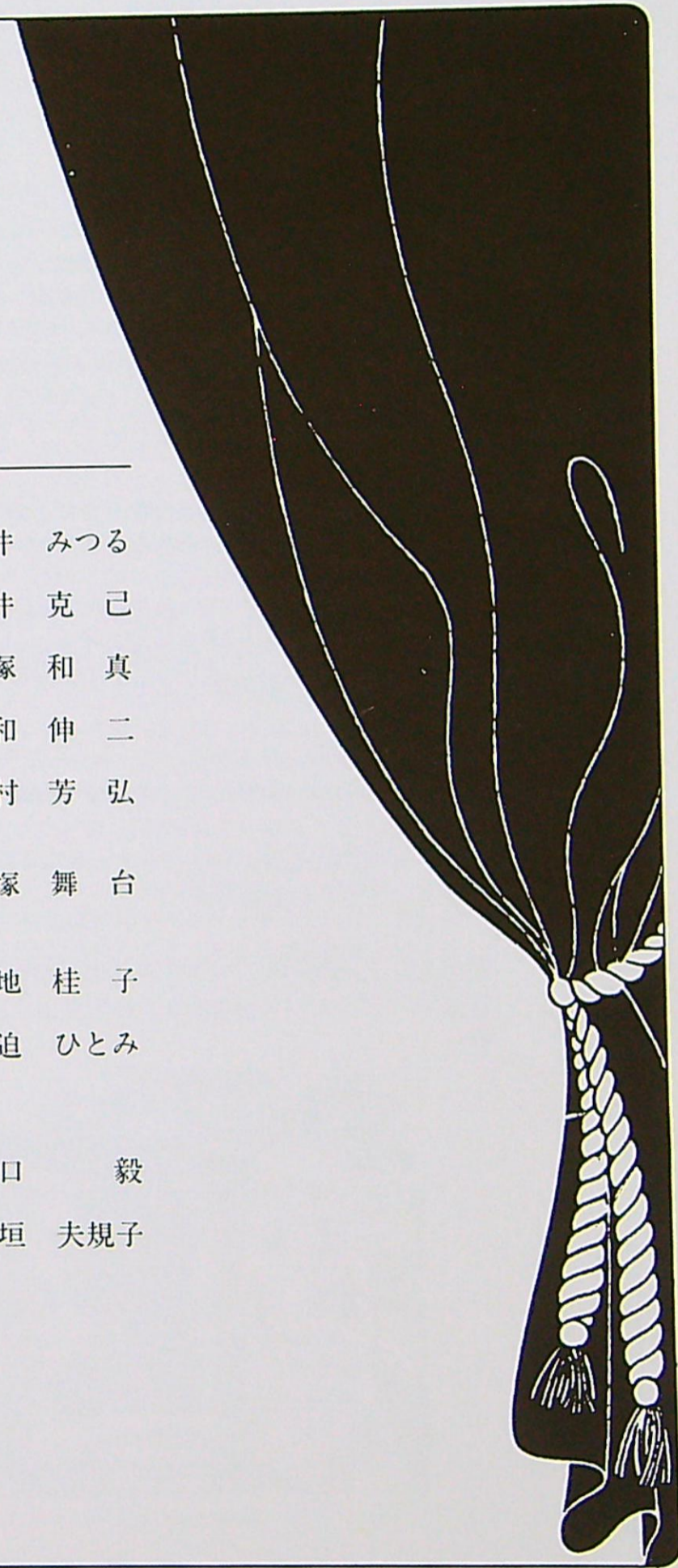
IL CONTE ALMAVIVA……………黒岩悟  
 LA CONTESSA……………萱岡美津栄  
 CHERUBINO……………加治郷子  
 FIGARO……………大原正義  
 SUSANNA……………岡崎順子  
 MARCELLINA……………矢内淑子  
 BARTOLO……………秋山啓  
 BASILIO……………日高好一  
 DON CURZIO……………中村芳弘  
 ANTONIO……………(四国二期会) 薦田義明  
 BARBARINA……………浜崎明美  
 Due Donne……………康広美千子・院去浩美

スタッフ

装置……………石井みつる  
 衣裳……………岸井克己  
 照明……………大塚和真  
 舞台監督……………田和伸二  
 合唱指揮……………中村芳弘  
 舞台……………大塚舞台  
 稽古ピアノ……………菊地桂子  
 北迫ひとみ  
 事務局……………井口毅  
 玉垣夫規子

演奏……………倉敷管弦楽団

合唱……………二期会合唱団



## 解説

■作曲者：モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart  
1756年1月27日ザルツブルク生→1791年12月5日ウィーン没。オーストラリアの作曲家。

■台本：ダ・ポンテ Lorenzo da Ponte 1749→1838が、ボーマルシェの喜劇をもとに書いた。イタリア語。

■原作：18世紀フランスの劇作家ボーマルシェ Pierre Augustin Caron de Beaumarchais 1732→1799 の手になる。1784年にパリで初演された戯曲。そのボーマルシェの戯曲のタイトルは「フィガロの結婚 Le Mariage de Figaro」。これは、同じボーマルシェの「セビリヤの理髪師 Le Barbier de Seville」「罪ある母 La Mere Coupable」と共に3部作を形成するもので、「フィガロの結婚」は、その3部作の第2部にあたる。

■作曲年代：1785年7月ごろ着手され、1786年4月29日に「序曲」を作曲して、全曲を完成した。だがその着手してから全曲完成までの間に、K.478の「すみれ」、K.476のピアノ四重奏曲、K.481のヴァイオリン・ソナタ、K.482のピアノ協奏曲、K.486の「劇場支配人」、K.488とK.491のピアノ協奏曲などがうみだされている。

■初演：1786年5月1日に、ウィーンのブルク劇場で行われた。初演は、大成功だったとも（初演でドン・バジリオとドン・クルチオをうたったケリーが書き残しているものによると）、さほどではなかったとも（インシュタイン）いわれる。

■時と所：18世紀末。つまり初演当時の現代。スペイン近郊のアグアス・フレスカとアルマヴィーヴァ伯爵の邸内。



—初演のポスター—

## ●登場人物

アルマヴィーヴァ伯爵  
スペインの貴族  
(バリトン)

伯爵夫人ロジーナ  
(ソプラノ)

フィガロ  
伯爵の従僕  
(バス)

スザンナ  
伯爵夫人の侍女でフィガロの婚約者  
(ソプラノ)

ケルビーノ  
伯爵の小姓  
(ソプラノ)

マルチェリーナ  
女中頭  
(メゾ・ソプラノ)

ドン・バジリオ  
医者  
(バス)

ドン・クルチオ  
裁判官  
(テノール)

ドン・バルトロ  
医者  
(バス)

アントニオ  
庭番  
(バス)

バルバリーナ  
アントニオの娘  
(ソプラノ)

花娘たち  
(ソプラノ)

夫人のロジーナとは大恋愛の末、結ばれたというのに（歌劇「セビリヤの理髪師」が、このオペラの前編に当ります）結婚後3年にして、目下最大の関心は夫人の侍女スザンナをわがものにする。しかし、所詮お坊っちゃん育ちのお殿様、フィガロやスザンナの必死の抵抗にあって、哀れな敗北を喫することになります。

伯爵の浮気心を知り、悲しみにくれますが、夫の心をとりもどすために決然と立ち上ります。終幕で伯爵が夫人に頭を下げるのはその策略に対してではなく、侍女に変装してまで夫をたしなめようとする愛の強さと、高貴な魂をそこまで追いつめてしまったことへの心の痛みからでしょう。

「セビリヤの理髪師」では伯爵を助けて、ロジーナとの結婚をとりもちますが、このオペラではその才知は、伯爵の悪企みから許婚者のスザンナを守るために使われます。決してひるむことのない生命力と、泉のように湧き出る機知が、権力に立ち向かう武器となります。

明るくて生き生きとして頭が良い彼女に惚れたのは、フィガロよりも伯爵よりもモーツァルト自身だったのではないのでしょうか。9曲の重唱を全部歌った上にアリアが2曲。音楽の面では「スザンナの結婚」と呼んでもおかしくないオペラです。

女性と見れば、誰彼かまわず言い寄りますが、伯爵夫人に寄せる熱い想いは格別。さすがの伯爵夫人もついフラットとなる程の美少年です。この役を女性が演ずるところに、不思議な倒錯の魅力も生まれます。

いい年をしてフィガロに熱をあげる教養あるご婦人。そのフィガロが、まさかバルトロとの間に生まれた我が子とは……。一旦はなしがわかれば、俄然母性愛に目ざめます。

「セビリヤの理髪師」ではロジーナの音楽教師として、はじめはバルトロに味方しますが、金をつかまされるとあっさり伯爵側に寝返った前歴の持ち主。このオペラでも「長いものには巻かれろ」という彼の人生哲学を遺憾なく発揮します。

裁判官にしては、いさかたよりないところもありますが、伯爵にとってはそれがつけ目。彼の六法全書には「伯爵の御意のままに」という文章しかないようです。

ロジーナの後見人で、やがては彼女と結婚してその美貌と莫大な持参金を手に入れるつもりでした。しかし、フィガロの働きで彼女を伯爵に奪われてしまい、その恨みを晴らすチャンスをうかがっています。ところがフィガロは何と我が息子。良き父親へと変身しますが、ケチなところは相変わらず。

スザンナの伯父でバルバリーナの父親。朝から晩まで酒をくらって酒くさい息をふりまいていますが、花を愛する一徹さには、フィガロも一目置かざるを得ません。

ケルビーノに首ったけの可愛らしい娘。けれど伯爵がキスしても無理に押し返したりはしません。ケルビーノが伯爵の怒りに触れると、例の件をさりげなく持ち出して、ケルビーノを窮地から救い出します。

三幕の結婚式の場面で、二重唱をうたって花をそえます。伯爵はいったん廃止した初夜権を復活させるのではないか、明日は我が身とヒヤヒヤしていたのですが、事無きを得てお祝いの歌声もはずみます。



## 第1幕

(アルマヴィーヴァ伯爵の館の一室)

伯爵の利発な従僕フィガロは、伯爵夫人つきの侍女スザンナと婚約している。彼は、結婚後伯爵が二人に与えてくれる部屋に、ベッドの大きさが合うかどうかを計っている。その部屋は伯爵の居室に近いので、フィガロには好都合に思えたが、スザンナはフィガロのお人好しを笑い、それには危険が伴うことを教える。なぜなら伯爵は、いにしえからの主君としての権利すなわち「初夜権」なるものを廃止したのだが、フィガロの婚約者スザンナに思いを寄せた今ではそれを後悔し、彼女を手近に置いて、その権利を行使しようともくろんでいるからである。

一人残されたフィガロは、カヴァティーナ(伯爵様、もし踊りをなさりたければ)で伯爵に対する怒りと、彼の計画をひっくり返す決意を歌う。

ところが、まだ気づいていないが、フィガロにはもう一つの災難が待ち受けている。伯爵の館の女中頭マルチェリーナは年甲斐もなくフィガロに恋しており、フィガロはすっかり忘れてしまっているが、もし返却できなければ結婚する、という約束で以前彼に金を貸したままになっているのである。そしてこの際、契約の履行を迫ろうというわけで、医師バルトロに助言を求める。彼には、かつてフィガロの働きによって、愛するロジーナを伯爵に奪われてしまった恨みがあり、これを機会にマルチェリーナの訴えを法的に手助けし、フィガロに復讐してやろうと決心する。

もっともスザンナとマルチェリーナの間にある反感は、このように具体的な理由を必要としない。バルトロが退場すると、かわりにスザンナが入ってくるが、両者は単なる礼儀作法のつまらない問題にも、互いにとげのある言葉で応酬する。

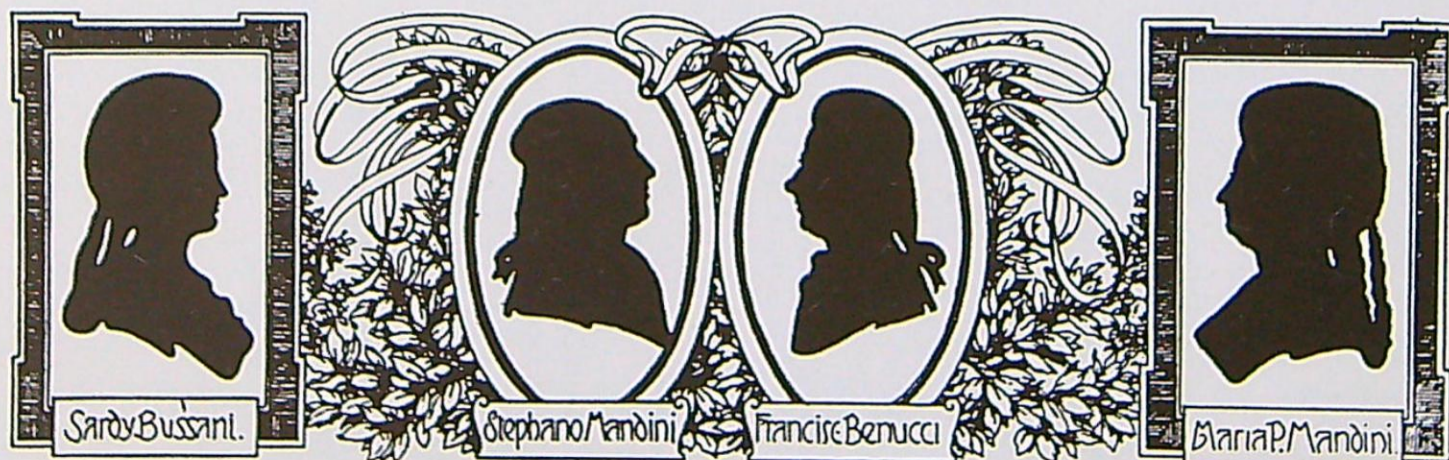
マルチェリーナが退場すると、そこへ小姓ケルビーノが突然飛び込んできて、スザンナを驚かす。彼は前日、庭師の娘バルバリーナと一緒にいるところを伯爵に見つかってしまい、伯爵の怒りにふれて暇を出されてしまった。そこで敬慕する伯爵夫人から伯爵にとりなしてもらおうようスザンナに頼み込むのである。そして自分自身が多感多情であることを告白する歌《僕にはもう自分がわからない》を歌う。

そこへ予期せぬ伯爵の登場で、小姓はあわてて肘掛椅子の背後に隠れる。伯爵はフィガロをロンドンに同行させる話をしてから可愛いらしい侍女スザンナに愛を告白し、言い寄ろうとするが、その時彼もまた音楽教師バジーリオに不意打ちを喰わされる。伯爵が肘掛椅子の背後に隠れると、ケルビーノは押し出されて椅子に滑り込み、スザンナが部屋着で彼を隠す。

バジーリオがスザンナに、伯爵の気持を伝えている間はよかったが、陰謀にたけた音楽教師の口から、小姓が自分の奥方を追い廻していると聞くや、伯爵は我慢できずに隠れ場から飛び出す。とまどうスザンナ、失言をとりつくろおうバジーリオ、そして怒り狂った伯爵の三重唱となるが、バルバリーナとケルビーノの一件を話している伯爵が、昨夜(机に掛けてあった覆いを静かに上げてみるとあの小姓がいたんだ……)と説明しながら部屋着を取り上げると、またもやそこに小姓ケルビーノを発見してしまうのである。

そこへフィガロを先頭に民衆が入ってきて、領主を純潔の保護者と讃える。伯爵はフィガロの意図を知って、初夜権の廃止を認めるが、心のなかではフィガロとスザンナの結婚をぶち壊そうと考えている。農民達が退場すると、ケルビーノに伯爵は罰として、彼を士官に任命、すぐに連隊に出発せよと命じる。絶望したケルビーノに、フィガロは行進曲風の Aria(もう飛ぶまいぞこの蝶々)を歌い一同退場。

▼モーツァルト作曲《フィガロの結婚》初演の出演者 1786年 ウィーン



## 第2幕

(伯爵夫人の部屋)

伯爵夫人は、夫との間が疎遠になったことを悲しみ、ひとりカヴァティエーナ〈愛の神様、私の苦しみと溜息に慰めの手を差し伸べてください〉を歌う。奥方はスザンナから、伯爵が彼女を誘惑したことを知り、夫の不実を嘆くが、そこへフィガロが楽しそうにやってくる。彼の計略とは、伯爵に味方するようにせ手紙を書き、伯爵夫人が密会を企てていることを知らせ彼があわてふためいている間に結婚式を挙げてしまおう、というものである。さらにスザンナは夕方伯爵が庭に来るように誘い、まだ出発していないケルビーノに、彼女の服を着せてそこに行かせるように三人は打ち合わせる。

フィガロが退場すると、伯爵夫人にのほせ上っている小姓ケルビーノが登場、夫人に捧げるカンツォーナ〈恋とはどんなものかしら〉を歌い、二人から喝采を浴びる。早速スザンナは部屋に鍵をかけて、ケルビーノの女装にとりかかる。

ところがスザンナが奥に入り、夫人とケルビーノが二人きりになったところへ、部屋の扉を叩く音がする。にせの手紙が思わざる効果を挙げてしまったのだ。伯爵は、ただちに夫人の釈明を求めに彼女の部屋に押しかけてきたのである。ケルビーノは衣裳室に逃げ込み、伯爵夫人はその鍵を隠してしまう。

普段はかけない部屋の扉の鍵がかかっていたので、入ってきた伯爵は不審に思い、衣裳室の戸を開けるよう要求する。しかし、伯爵夫人がこれを拒むので、伯爵はますます疑いを強める。物音を聞いて、誰が中に居るのか、との問いに、夫人はスザンナと答える。

そこにスザンナが戻ってくるが、伯爵は気づかず、衣裳室の戸を開ける一開けないの三重唱〈スザンナ、さあ出ておいで〉が始まる。業を煮やした伯爵は、戸をこじ開ける道具を取りに、奥方を同向して出てゆく。

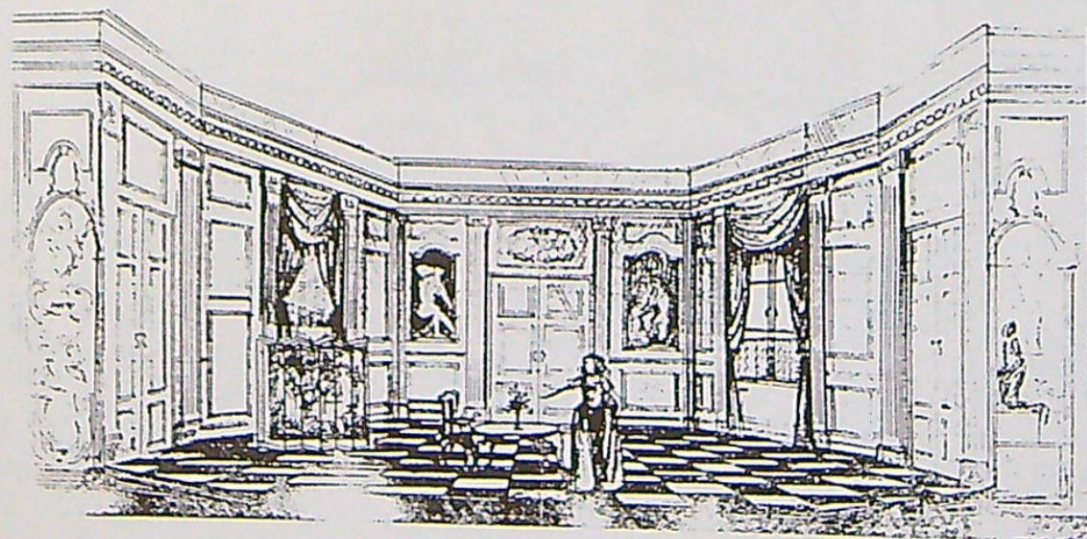
この合い間を利用して、ケルビーノはスザンナに衣裳室から出してもらい、勇敢にも窓から飛び降りて逃げてゆく。スザンナは代りに衣裳室に隠れる。

伯爵と伯爵夫人が戻ってくる。最悪の状況に立ち至る前に、夫人は計画した陰謀を白状してしまう。ところが、衣裳部屋から現われたのはケルビーノではなく、スザンナであった。今度は逆に伯爵が、あらぬ嫌疑をかけたことの赦しを乞わねばならなくなってしまう。

そこへ折悪しくフィガロが、式の用意が出来たと知らせにやってくる。伯爵はにせ手紙のことを尋ねるが、彼はすべてを否定する。ところが、さらに庭師アントーニオが姿を現わし、誰かが窓から飛び降りて、窓の下の植木鉢を壊してしまったと訴え、伯爵の心の中に、新たな疑惑が目覚める。そのうえケルビーノが逃げる際に落した紙きれを庭師が拾ってしまったのである。

この危機を打開しようと、フィガロはすべてを引被る。伯爵から逃れようと窓から飛び出した者は自分で、手紙の一件で疚しいところがあったからなのだというが、それではおまえはその際何をなくしたのか、と伯爵に質問される。伯爵夫人とスザンナは、ケルビーノからその紙片を見せられていたので、フィガロにこっそり正しい答を教える。それは小姓の士官就任の辞令であり、印鑑を押し忘れていたので、自分が頼まれて、この書式上の不備を片づけることになっていた、とフィガロが申し開きをするので、伯爵は敗北を認めざるを得ない。

しかしその時、マルチェリーナ、バルトロそしてバジーリオが現われてフィガロに対して公式に、借金の返済かマルチェリーナとの結婚か、と契約の履行を迫る。伯爵は結婚式を遅らせるチャンスを見つけて大喜び、法による審理を約束する。各人の思惑を歌う7重唱によって幕が閉じる。



### 第3幕

(婚礼の用意が整えられた広間)

伯爵が一人で今までの出来事について考えている。

そこへスザンナが現われる。彼女と伯爵夫人は、新しい計画を考え出した。二人は衣裳を取り換え、スザンナのかわりに夫人が伯爵との夜の密会におもむくことになったのである。奥方はそれによって彼女の夫が反省することを、スザンナはフィガロとマルチェリーナの間の訴訟が都合よい結果に終るよう期待をかけている。まず最初に伯爵を逢い引きに連れ出さねばならないが、これはスザンナがほんの少し誘いをかけるだけで成功する。(二重唱《ひどいぞ、どうして今まで私をこんなに焦れさせたんだ》)

首尾よく行ったものの、そこへ入ってきたフィガロにスザンナが「もう訴訟には勝ったのよ」と軽率にもささやいた一言が、伯爵の耳に入ってしまう。

伯爵は、なぜスザンナが彼の意を迎えるような態度に出たかに気づき、判決はスザンナの望んでいたとは異なる結果に終らせようと思う。そして、自分が望んでも得られないものを、召使いが手に入れるとは何事か、と怒り《私が溜息をついているあいだに》を歌う。

マルチェリーナ、バルトロ、フィガロそして裁判官ドン・クルーツィオ登場。彼は伯爵の意図に従順で、フィガロに借金が払えなければマルチェリーナと結婚せよ、と言う。しかし、そこで予期せぬ出来事がもち上る。フィガロが、自分は由緒正しい生まれで赤ん坊の時に盗賊に盗まれ、両親と生き別れになっているのだ、と言ってその証拠を見せたところ、実はマルチェリーナとバルトロこそフィガロの本当の両親であったことが判明したのである。こうなると二人ともスザンナに対して異議を唱えることもなく、借金を返済する金を持ってきたスザンナを交じえて、全員で6重唱《この抱擁のうちに母を認めておくれ》となる。

そしてマルチェリーナとバルトロも、スザンナとフィガロと一緒に結婚式を挙げることになり、4人は大喜びで抱き合って退場。

さて、伯爵夫人が一人で登場し、計略を企てねばならないほど夫との間が冷めたい関係になってしまったことを嘆き、アリア《甘さと喜びの美しい時はどこにあるのかしら》を歌う。

スザンナが登場して、計画がうまくいっていることを報告する。新たに誘いをかけることが必要で、奥方の口述によりスザンナが手紙をしたためる。二重唱《そよ風に寄せる……》。そしてピンで手紙の封をし、逢い引きを諒解した場合は、そのしるしとして、このピンを返してもらうことにする。

庭師の娘バルバリーナと農民の娘達が、伯爵夫人に花を捧げにやってくる。(合唱《お受け下さい奥方様》)そこにはケルビーノも女装して紛れ込んでいるが、庭師アントーニオがすぐに見破ってしまう。伯爵はケルビーノに間を与えようとするが、バルバリーナの一言で見事に失敗してしまう《殿様は私をお抱きになってキスされる度ごとによくおっしゃい

ますね《バルバリーナ、私を愛してくれるなら、ほしいものをやろう》って)。

伯爵はまた壊れた植木鉢や辞令のことを言うが、フィガロは巧みにごまかしてしまう。

一同が登場して結婚の祝典が始まり、伯爵は不機嫌ながらもスザンナとフィガロの結婚に同意せざるを得ない。ところが花嫁のヴェールを受け取る儀式の際に、スザンナが手紙をそっと握らせたため、伯爵は上機嫌になり、盛大な宴会を催すと宣言する。一同は殿様を讃えるが、フィガロは、伯爵の手にある手紙の存在や、彼がピンで指を刺したことに気づいて、誰かある婦人が伯爵を逢い引きに誘ったのだと気づいているのである。

### 第4幕

(伯爵の館の庭、夜)

バルバリーナが、伯爵の命を受けてスザンナに返すはずだったピンを探している。(カヴァティーナ《失くしてしまった》)

そこにフィガロがマルチェリーナとともに現われる。バルバリーナは何気なく、例の手紙を誰が出したかフィガロに喋ってしまう。彼はスザンナが伯爵に手紙を手渡したことを知っているのだから、彼女の不貞がこれで証明されたと思ひ込む。マルチェリーナは悲嘆にくれる息子を慰めるが、彼は暗闇の庭で彼女を待伏せして、復讐すると言って立ち去る。一人残ったマルチェリーナは、スザンナを信じ、彼女にこのことを知らせようとする。(アリア《牡山羊と牝山羊は》)

スザンナと伯爵夫人が変装して現われる。フィガロが立ち聴きしているのを知って、スザンナはわざと密会の喜びを歌って(アリア《早くおいで、美しい喜びよ》)自分を疑った仕返しをする。

そこへケルビーノがやってきて、スザンナの服を着た伯爵夫人に言い寄るが、伯爵がこれを追い払ってしまう。ケルビーノが小屋に逃げ込んだ後、伯爵は夫人をすっかりスザンナと思ひ込み、甘い言葉をかけて指環を与え、あずまやに誘う。フィガロは絶望するが、二人が去ってからほどなく、伯爵夫人と思っていた女性が、その声から実はスザンナであることを見破る。それでも彼は、なおこの喜劇と一緒に演じ、度を過ぎて「伯爵夫人」の足元に身を投げ出し、即座に平手打ちを喰わされるが、二人はすぐに仲直りする。

伯爵夫人に変装したスザンナとフィガロの二人を見つけた伯爵は、自分自身が浮気をしているにも拘らず、ありもしない奥方の不貞に復讐しようと、フィガロを取り押え、人を呼ぶ。フィガロの相手が逃げ込んだあずまやから、伯爵はケルビーノを、そしてバルバリーナとマルチェリーナ、つづいて変装したスザンナを引っ張り出す。そこへスザンナの服を着た伯爵夫人が登場し、初めて伯爵は事の真実を理解する。彼は自分の非を認め、伯爵夫人に救いを乞う。その願いはききとどけられ、一日中大騒ぎしたあげくに、ようやくスザンナとフィガロの結婚には何の障害もなくなったのである。



演出

清宮秀高

東京生れ。  
藤原歌劇団において数多くのオペラにたずさわり、1968年には3ヶ月間オーストラリアThe Elizabethan Trust Opela Cormpani の招聘によりお蝶夫人を演出。レテリ・テレグラヒュー紙上で「忘れられぬ日本人による「お蝶夫人」の演出」と絶賛を博した。  
現在、東京芸術大学オペラ科演出部講師。



指揮

古谷誠一

東京大学文学部卒業。在学中からNHK放送合唱団、早稲田大学グリークラブなどの伴奏を務めるかたわら、東大オーケストラの指揮、ステファノオペラ劇場、長門美保歌劇団などの副指揮を務める。卒業後桐朋学園音大で、指揮を小沢征爾、秋山和慶、堤俊作各氏に、作曲、ピアノを、故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄各氏に師事。日本バレエ協会公演で、ニールセンの交響曲「不滅」他を振ってデビュー。東京、大阪のオーケストラとの仕事の一方、オペラ、バレエ、外来演奏家との協奏曲など、地道に活動の場を広げている。名古屋芸術大学講師。

ソリスト



伯爵

黒岩 悟

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。  
同大学大学院修士課程修了  
中山梯一、柴田睦陸、渡辺高之助、ニコラ・ルッチ、木下武久の諸氏に師事。  
40年「フィガロの結婚」のバルトロ、41年「ドン・ジョバンニ」の騎士長、43年「カルメン」のダンカイロ役に出演。岡山に於て、「アマールと夜の訪問者」、「雪女風土記」、「海の子守唄」、「魔笛」、「あまんじやくとうりこひめ」等に出演。56年「ボーギーとベス」で主役ボーギー役に出演。他、香川県芸術祭主催、徳島県芸術祭主催のベートーヴェン「第9」ソリストとして出演。現在、中国短期大学教授



伯爵夫人(倉敷)

萱岡 美津栄

国立音楽大学声楽科卒業。イタリア市立ガエターノ・ドニセッティ音楽院オペラ専攻修了。吉田易正、柴田睦陸、フロリアーナ・カバリリ、エットーレ・カンボガリアーニの諸氏に師事。47年フォーレ「レクイエム」のソリストとして、又、オペラ「炭焼姫」の主役。51年イタリアへ留学、其の間ミラノでオペラ「蝶々夫人」の主役でデビュー、其の後オペラ「笑いの国」、オペラ「ジャンニ・スキッキ」他、数々のオペラの主役を演じ、数多くのコンサートをイタリア各地の歌劇場で活躍し56年帰国、57年と58年東京日比谷公会堂にて「新春オペラ・コンサート」に東京シティ・フィルと協演。57年、大阪と岡山にて帰国記念リサイタルを開催。  
現在、岡山大学講師。



伯爵夫人(福山)

古賀 照子

大阪芸術大学演奏学部声楽専攻卒業。  
大原正義、加納純子、松本寛子、佐々木英代の諸氏に師事。53年、大阪芸大卒業演奏会、岡山県新人演奏会に出演。54年、56年、近代日本音楽研究会の「日本のしらべ」に出演。オペラでは「ドン・ジョバンニ」のドラベラ、「ヘンゼルとグレーテル」、「ラ・ボエーム」のミミ、「魔笛」の侍女役で出演。現在、市立玉島高等学校音楽非常勤講師。



ケルビーノ(福山)

菅野 泰枝

大阪音楽大学声楽科卒業。  
佐々木英代、永井和子、木下武久の諸氏に師事。  
57年、備後新進演奏会、二期会オペラアンサンブル、第5回「日本のしらべ」、ポリフォニー演奏会、「河童譚」のお花役に出演。



ケルビーノ(倉敷)

## 加治郷子

東京音楽大学卒業。  
加納純子、佐々木英代、矢部礼子の諸氏に師事。55年「ボーチェプーレコンサート」、第5回ムジカドンネ「にほんのうた」、二期会オペラアンサンブル「カルメン」のメルセテス役、56年第4回「日本のしらべ」、第6回ムジカドンネ、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼル役、オペラ「魔笛」の童児II、57年「河童譚」のおっ母役等に出演。現在、県立邑久高等学校、備前高等学校非常勤講師。



スザンナ(福山)

## 平本弘子

広島大学教育学部音楽科卒業。  
小林教子、千葉佳子、大熊文子、K・リヒターの諸氏に師事。55年、57年、ルツェルン・コンセルバトワール夏期マスターコースに参加。57年、シュトゥットガルト音楽大学に留学、K・リヒターのクラスで独歌曲を学ぶ。49年、54年、ベートーヴェン「第9」のソロ、50年モーツァルトのコンサート用アリアのソロ。マーラー「子供の不思議な角笛」のソロ。51年、55年、56年、リサイタル開催。オペラでは「アマールと夜の訪問者」のアマール、「電話」のルーシー、「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナ、「酒呑童子考」のあかね、「海の子守唄」の若い娘、「魔笛」のパミーナ役等に出演。現在、福山女子短期大学保育科講師。



マルチェリーナ(福山)

## 藤井美雪

大阪芸術大学演奏学科声楽科卒業。松本寛子、田原祥一郎、平本弘子、諸氏に師事。55年同大学第一回オペラ公演「修道女アンジェリカ」の公爵夫人役、56年第二回オペラ公演「フィガロの結婚」マルチェリーナ役。56年卒業演奏会。56年吉村一夫氏による新しい星シリーズコンサートサロン。57年二期会オペラコンサート「あまんじゃくとうりこひめ」のぼっさ役。57年「メサイア」、58年モーツァルト「レクイエム」のアルトソロで出演。



バルトロ

## 秋山啓

島根大学教育学部特設音楽課程声楽専攻卒業。同大学専攻科修了。森山俊雄・黒岩悟諸氏に師事。津山室内楽研究会定期演奏会に第1回より毎年出演し、パッハのカンタータ、シューベルトの歌曲、河童譚、孤々譚など演奏、56年津山にてジョイントリサイタルを開く。56年オペラ「魔笛」のパパゲーノ、「ボーギーとベス」のジェイク役等に出演。現在、岡山女子短期大学幼児教育学科講師。



フィガロ

## 大原正義

国立音楽大学声楽科卒業。  
井上貞一、益田遙の諸氏に師事。ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、ハイドン「天地創造」、オルフ「カルミナブラーナ」、ベートーヴェン「第9」のソリストとして出演。47年リサイタル開催。オペラでは「アマールと夜の訪問者」の王様、「海の子守唄」の網元、「魔笛」のザラストロ、「ボーギーとベス」のクラウン役等に出演。現在、中国短期大学保育科、音楽科講師。



スザンナ(倉敷)

## 岡崎順子

岡山大学教育学部音楽専攻卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了。  
矢部礼子、小島琢磨、木下武久の諸氏に師事。55年、ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽大学夏期セミナーを受講、リタ・シュトライトに師事。モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、パッハ「結婚カンタータ」「コーヒーカンタータ」ベートーヴェン「第9」等にソリストとして出演。56年、リサイタル開催(於・新見)。オペラでは「アマールと夜の訪問者」のアマール、「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナ、ドンナ・エルヴィーラ、「海の子守唄」のしの、「魔笛」のパパゲーノ、「カルメン」のミカエラ、「ボーギーとベス」のクララ役等に出演。現在、新見女子短期大学幼児教育学科講師。



マルチェリーナ(倉敷)

## 矢内淑子

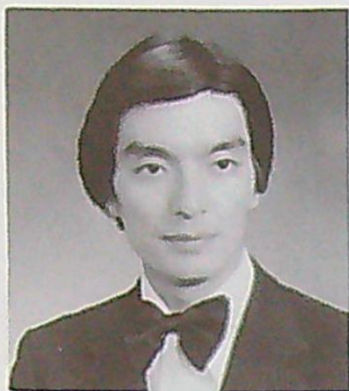
国立音楽大学声楽科卒業。同大学大学院修了。  
石田徹、西内静、井上貞一、木下武久、西内玲の諸氏に師事。56年ワルマルのフランツ・リスト音楽院で夏期国際音楽セミナーを受講。ローレ・フィッシャーに師事。又、イタリア・ミラノにてカスティリオーニに師事。49年より毎年、静声会コンサートにおいてドイツ・リートを歌う。ハイドン「聖アロイジミサ」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「ニコライミサ」にソリストとして出演。オペラでは「海の子守唄」の老女、「魔笛」の侍女役に出演。現在、中国短期大学非常勤講師。



バジリオ

## 日高好一

洗足学園大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。島田恒輔、三枝喜美子諸氏に師事。50年東京二期会合唱団に入団。主要メンバーとして、ソロパートを受け持ち、数々の二期会オペラに出演。53年準会員となり、54年二期会合唱団退団と同時に、中・四国支部に移籍。55年関西日伊コンコロソでテノール特賞を受賞。オペラ「海の子守唄」の六郎治役、「カルメン」のドン・ホセ、創作オペラ「温羅の砦」の石勝役、広島オペラ「はだしのゲン」の浩二役、「ボーギーとベス」のスポーティング・ライフ「魔笛」のタミーノ役等を演じる。56年、58年リサイタル開催。現在、岡山大学教育学部・中国短期大学音楽科非常勤講師。



ドン・クルチオ

中村芳弘

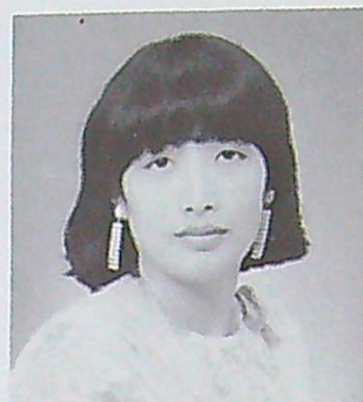
国立音楽大学教育音楽科第I類卒業。声楽を伯田好史、瀬川武の諸氏に師事。岡山混声合唱団副指揮者。現在、山陽女子高等学校音楽科教諭。



バルバリーナ(福山)

宗盛ゆきみ

中国短期大学音楽科卒業。同大学専攻科修了。同大学聴講科修了。景山勝博、黒岩悟、木下武久の諸氏に師事。ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学夏期ゼミナールを受講。パウル・リンデベルグに師事。音楽科定期演奏会にて独唱。中・四国新人演奏会に出演。備後新進音楽家演奏会に出演。「オペラアンサンプルの夕べ」「ゴールデンコンサート」に出演。「黒つぐみ」「歌科」「ポリフォニー」に出演。ジョイント・リサイタルを開く。(尾道市公会堂於て)



花娘(福山)

稲見仁江

中国短期大学音楽科卒業。同大学専攻科修了。同大学聴講科修了。二期会中・四国支部研究生予科・本科修了。奥坂聡子、野崎幹子の諸氏に師事。岡山県新人演奏会出演。二期会ゴールデンコンサート出演。



アントニオ

薦田義明

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。故藤原高夫、故磯谷威、柴田睦陸、ニコラ・ルッチの諸氏に師事。東京芸術大学オペラ定期公演「コシ・ファン・トゥッテ」同大オペラ定期公演「修禅物語」同大オペラ定期公演「ロドレッタ」横浜カントーレオペラ「魔笛」横浜カントーレオペラ「俊寛」二期会中国支部「アマールと夜の訪問者」等出演。「フィガロの結婚」「あまんじゃくとうりこ姫」等の指揮を始め合唱指揮活動多数。1978年高松市民会館於バリトンリサイタル。現在、香川大学助教授。中国短期大学音楽科非常勤講師。



バルバリーナ(倉敷)

浜崎明美

作陽音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。阿部靖子、戸田政子、中沢桂、河本喜介、井上和世の諸氏に師事。卒業演奏会に出演。第2回、第3回オペラ研究室発表会に出演。シューベルト「Gdurミサ」のソロ。第1回、第2回、第3回リサイタル開催。オペラでは「炭焼姫」「雪女風土記」「海の子守唄」「コシファントゥッテ」「温羅の砦」「蝶々夫人」「あまんじゃくとうりこひめ」等出演。現在、作陽短期大学幼児教育学科講師。



花娘

院去浩美

中国短期大学音楽科卒業。同大学専攻科修了。石田徹、西尾優の諸氏に師事。56年岡山県新人演奏会出演。57年中・四国新人演奏会出演。



花娘(倉敷)

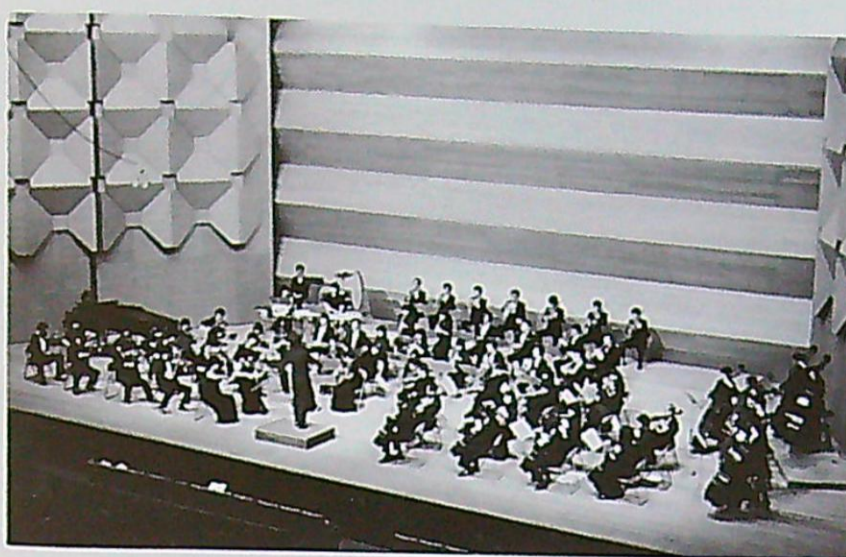
康広美千子

中国短期大学音楽科卒業。東京学芸大学特設音楽科卒業。黒岩典枝、野崎幹子、中村義春、阿部容子の諸氏に師事。53年ウィーン国際音楽ゼミナールを受講。H・レッセル＝マイゲン・E・ウェルバに師事。50年学芸大学オペラ「フィガロの結婚」のバルバリーナ役出演。

## 倉敷管弦楽団

●Vnl  
佐藤真理子  
菊池 東  
稲田 真理  
中桐佐知子  
浅井 直樹  
中上 裕子  
陶山 容良  
吉信 雅庸  
山名 良  
●VnII  
池上 俊昭

赤沢 和美  
三村 卓司  
木村 啓子  
橋詰万里子  
吉田 精一  
●Va  
黒住 彰夫  
中野 隆重  
友野 良一  
武本 克巳  
吉田 典子



●Vc  
西田 毅雄  
田辺 幹夫  
光延 勢吾  
森田 真弓  
●Cb  
本屋敷勝信  
曾我部仁和  
難波 由宏  
●Fl  
坂口 充倫  
古川 兼生

松岡 倫代  
●Ob  
角田 容子  
秋山 慶子  
安田 元子  
●Cl  
川名 光治  
高杉 玲子  
岡本 あき  
●Fg  
稲田 裕彦  
成本 峰子

太田 匡紀  
●Hr  
吉市 幹雄  
西崎 大修  
●Tp  
中桐 実  
森田 裕三  
石原 憲  
岡本 卓也  
●Timp  
陶山 京子  
西岡 啓治

## チェンバロ



### 菊地 桂子

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科  
ピアノ専攻卒業。  
ピアノを鈴木厚子、大出孝祐、宮  
原峰子、播本三恵子の諸氏に師事。  
現在、中国短期大学音楽科助手。



### 北迫 ひとみ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピ  
アノ専攻卒業。  
ピアノを内田裕子、小島準子、岩  
崎淑の諸氏に師事。  
現在、中国短期大学音楽科助手。

## 合唱団

### 〈福山〉



佐藤 敦子



住元久美子



藤川多恵子



前田 聖子



岡崎 宏美



穴戸 尚子



森崎 典子



山本 尚子



高橋 裕美



日高 京子



三好理恵子



横山 敦子



有安 泉



片山 寿子



國廣しづか



吉貞美早穂



綾 芳一



金沢 英雄



広江 正教



前田 洋二



三木 健嗣



井内 修



中島 俊治



山口 透



三甲野和史



佐藤 賢司



松本 憲治



松本 諄



三宅 正人



有田 洋



上島 一仁



角南 治之

- 昭和48年 7月 支部設立 会員6名。オーディションにより新会員10名  
準会員8名、総勢24名により発足。  
10月 設立記念演奏会(岡山三木記念ホール)
- 昭和49年 4月 49年度会員準会員募集、10名応募中会員2名、準会員1  
名合格入会。  
5月 研究生制度発足 第一期生17名、予科入学。  
7月 高松演奏会(高松農協会館)
- 昭和50年 3月 研究生修了演奏会(岡山文化センター)  
5月 50年度会員準会員募集、12名応募中会員2名、準会員2  
名合格入会。第二期研究生10名入学。  
7月 “歌曲の夕べ”岡山文化センター  
“モーツァルトの作品によるサマーコンサート”  
(高松農協会館)  
10月 オペラ公演“炭焼姫”“アマールと夜の訪問者”  
(井原9日、岡山10日)
- 昭和51年 3月 研究生修了演奏会  
4月 51年度会員募集、11名応募中会員3名、準会員4名合格。  
第三期研究生7名応募中6名合格。  
9月 二期会コンサート(香川会室)  
創作オペラ“あまんじゃくとうりこ姫”(高松市民会館)  
10月 演奏会形式によるオペラ“ドン・ジョヴァンニ”  
(岡山市民文化ホール)  
12月 第1回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)
- 昭和52年 3月 第三期研究生卒業演奏会  
4月 52年度会員募集(18名応募、11名合格)  
10月 新人紹介演奏会  
11月 二期会オペラコンサート(高松19日・観音寺20日)  
12月 第2回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)
- 昭和53年 9月 二期会オペラ公演“泥棒とオールドミス”  
“人買太郎兵衛”(高松7日・丸亀9日・観音寺10日)  
10月 モーツァルト三大オペラハイライト“フィガロの結婚”  
“ドン・ジョヴァンニ”“魔笛”(岡山市民会館30日)  
12月 第3回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール 23日)

- 昭和54年 9月 54年度会員募集  
(11名応募、会員1名、準会員5名合格)  
10月 オペラ「海の子守唄」公演(岡山市民会館11日)  
12月 オペラ「炭焼姫」オペラ「アメリカ舞踊会へ行く」  
(15日観音寺市民会館、16日丸亀市民会館、17日・18日高  
松市民会館)  
第4回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール 22日)
- 昭和55年 4月 55年度会員募集  
(15名応募、会員2名、準会員4名合格)  
10月 二期会オペラアンサンブルの夕べ「コシ・ファン・トゥッ  
チ」「カルメン」(岡山市民会館3日)  
10月 あなたのオペラわたしのオペラ「オペラハイライト」  
「スザンナの秘密」  
(高松14日・丸亀25日・観音寺26日・普通寺27日)  
12月 第5回ゴールデン・コンサート(岡山市民文化ホール 20日)
- 昭和56年 3月 56年度会員募集  
(16名応募、会員1名、準会員8名合格)  
8月 中山梯一リード研究会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
11月 オペラ「フィガロの結婚」(高松市民会館 19日、25日)  
12月 オペラ「魔笛」公演(倉敷市民会館 13日)
- 昭和57年 4月 57年度会員募集  
(17名応募、会員1名、準会員9名合格)  
7月 中山梯一リード研究会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
7月 永曾信夫演劇講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
10月 二期会オペラコンサート  
「オペラアンサンブル」「あまんじゃくとうりこ姫」  
(岡山市民文化ホール 1日)  
12月 第6回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール21日)
- 昭和58年 2月 二期会四国支部設立  
3月 58年度会員募集  
(6名応募・会員1名 準会員5名合格)

## 会 員 名 簿

顧問 糸賀英恵  
委員長 近藤安介  
副委員長 吉田易正  
委員 黒岩 悟  
大原正義  
岡崎順子  
平本弘子  
虫明和子

### ●ソプラノ

正会員 後閑睦子(岡山)在伊  
" 佐々木英代(岡山)  
" 中田ちほ子(広島)在独  
" 虫明和子(岡山)  
" 浜崎明美(岡山)  
" 山下敬子(岡山)  
" 平本弘子(広島)  
" 岡崎順子(岡山)

正会員 萱岡美津栄(岡山)  
準会員 小林寛子(岡山)  
" 川上なおみ(大阪)  
" 稲見仁江(兵庫)  
" 梶川良子(岡山)  
" 宗盛ユキミ(広島)  
" 山本恵美(岡山)在米  
" 高橋真砂子(岡山)  
" 山脇恵子(広島)  
" 畑井知加子(広島)  
" 山下ひろ子(広島)  
" 松本博子(山口)  
" 古賀照子(岡山)  
" 森下美喜子(岡山)  
" 河原井蔦枝(岡山)  
" 菅野泰枝(広島)  
" 康広美千子(岡山)  
" 鈴木克美(岡山)

準会員 住元久美子(広島)

### ●メゾソプラノ・アルト

準会員 渡辺賀都枝(岡山)  
" 矢内淑子(岡山)  
" 上田弥生(岡山)  
" 加治郷子(岡山)  
" 小野容子(岡山)  
" 友保鏡子(岡山)  
" 藤井美雪(広島)  
" 長尾節子(岡山)  
" 院去浩美(広島)

### ●テノール

正会員 石田 徹(岡山)  
" 近藤安介(岡山)  
" 日高好一(広島)  
準会員 平 光康(広島)

準会員 中村芳弘(岡山)

### ●バリトン

正会員 大原正義(岡山)  
" 黒岩 悟(岡山)  
" 吉田易正(岡山)

### ●バス

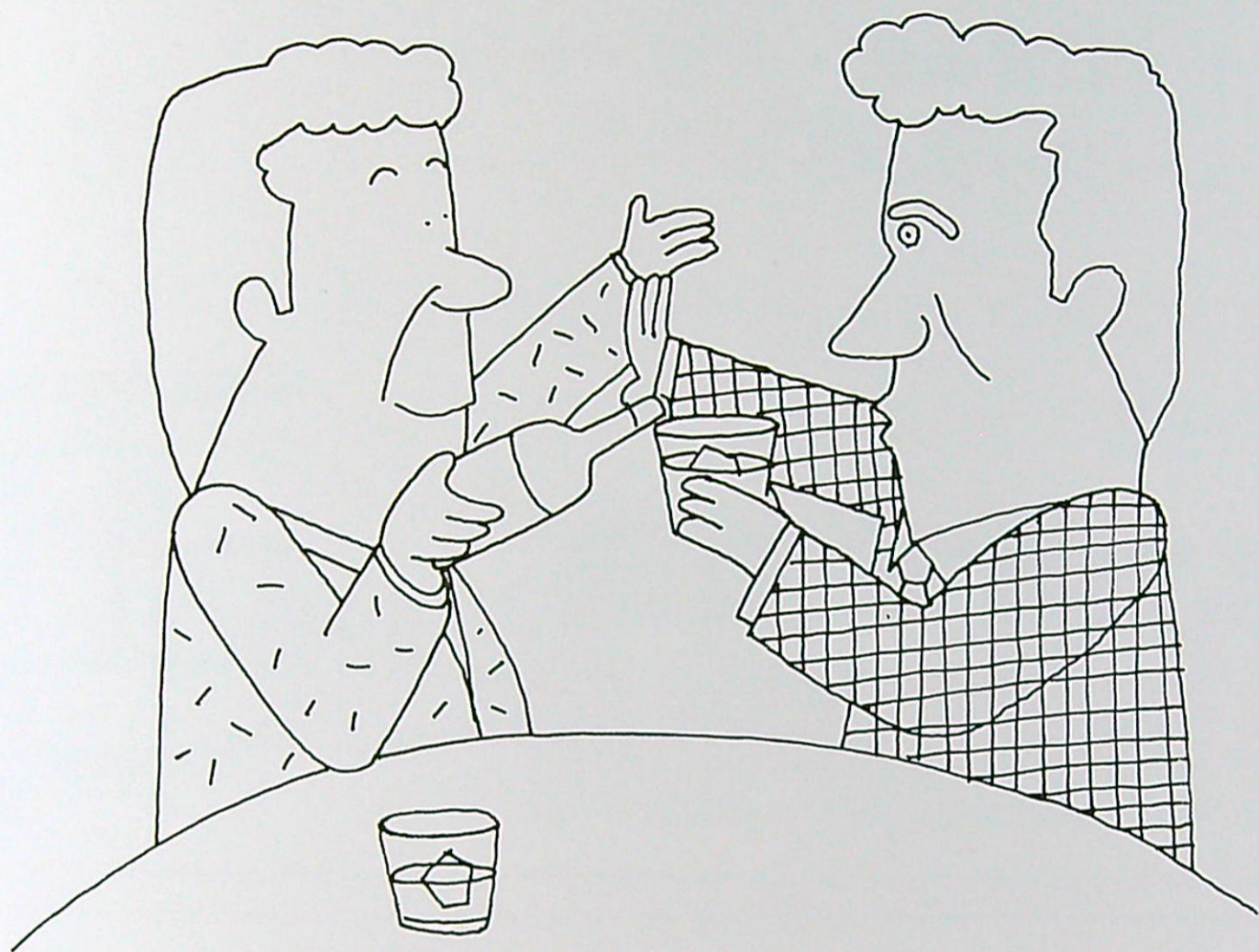
正会員 菅谷省三(岡山)  
" 秋山 啓(岡山)

### ●関係ピアニスト

森田美智子(岡山)  
北迫ひとみ(岡山)  
森 あおい(岡山)  
菊地桂子(岡山)  
山本祐充枝(岡山)  
三村俊子(岡山)  
来山千晴(広島)



# スコールは トクトクと注ぐとタクタクと受け



デンマーク人とグラスを交わす。

まあ一杯どうぞ、とトクトク。

すると、グラスを上にあげながら、もう結構、ありがとう  
(タクタク)と言いながらも、グラスはなみなみと満ちる。

トクトク、タクタク、トクトク、タクタク——酒飲み  
の心情万国共通。ヴァイキングの末裔も酒のすすめには  
からつきし弱い。

かくしてスコールのくりかえしが続く。

トクトク、スコール!

タクタク、カンパーイ!

ところでスコールの語源は頭ガイ骨のこと。

形が土器の酒器と似ていたかららしい。

日本語も「鉢」は古語で頭のこと。「ハチ合わせ」に古い  
意味が生きている。人間の考えること、古今東西、変わ  
らないこと多いんだな。

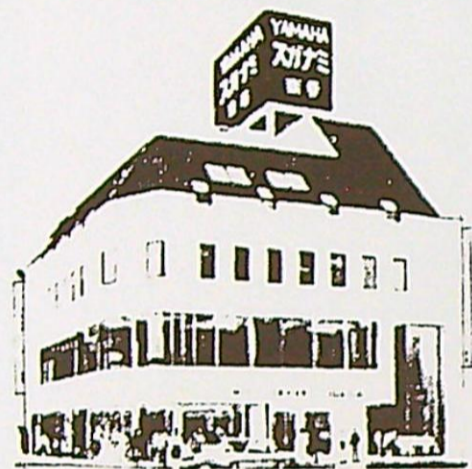
## 守屋酒舗

●福山市寺町15—1電話(0849)23・1658

# ヤマハピアノ エレクトーン

各社レコード・教育楽器・楽譜・楽書

ミュージックホール



## スガミ楽器

福山本店 福山市東桜町7番1号(NHK西側) ☎(0849)23-6150(代表)  
 蔵王店 福山市南蔵王町5丁目128番地 ☎(0849)43-6211(代表)  
 トモテツセブン店 福山市駅前トモテツセブン6F ☎(0849)26-1323  
 笠岡店 岡山県笠岡市笠岡2834-1 ☎(08656)2-2974



倉敷店	倉敷市鶴形1丁目	☎(0864)22-2730(代)
笹沖店	倉敷市笹沖交差点角	☎(0864)22-9451(代)
玉島店	倉敷市玉島瓜崎ニチイ前	☎(08652)2-0630(代)
岡山店	岡山市表町2丁目(旧下之町)	☎(0862)26-2222(代)
児島店	倉敷市児島下の町10丁目8-50	☎(0864)72-8530(代)
総社店	総社市中央2丁目8-106	☎(08669)3-6726(代)
本店	倉敷市本通り商店街	☎(0864)22-0648(代)

## 中原三法堂

便利な暮らしのお手伝い 楽しい暮らしのお手伝い

お宅の電気製品が一日でも永くお役にたつよう  
お手伝いさせていただきたいと、毎日願っています。

電気製品の御相談は

# 株式会社 難波電機店

倉敷市中島小溝 電話 (0864) 65-3076



宝石



時計

福山市笠岡町本通り1-10 23-0989(代)

営業時間/AM10:00~PM7:00<年中無休>

クラシックレコードの専門店

# レコードの 久松商会

本店 福山市延広町6-26(久松通り) TEL(0849)23-0026

駅前店 福山市東桜町1-1 繊維ビル1F TEL(0849)25-0704



美しさに まごころこめて…

メナード化粧品



倉敷大島営業所

メナードレディ募集中

倉敷市大島360-8  
TEL. (0864) 22-1407

Izakaya  
居酒屋

倉敷市阿知三丁目10-12  
倉映地下 ☎ 25-4159

総合卸商社

紙・文具・事務用品 事務用機器  
スチール家具 コピーサービス

株式会社

文泉堂

〒710 倉敷市白楽町382番地  
電話 (0864) 25-5615(代)

西阿知営業所 ☎65-2055(代)

サブリーナタウン店 ☎25-1000 (内線) 306

西ノ浦店 ☎48-1161

フレッシュパーク店 ☎28-4921

幕の内・おべんとう

手造の味を

真心こめておとどけする。

(有) ビナン食品

倉敷市大島524-3  
TEL. (0864) 24-6272

注文建築なら建築と資金の総合プランナー



お問い合わせとご相談は。

福山支店 ☎0849(23)0015(代)

担当 高垣まで

〒720 福山市御船町2-8-16

ゆったり、デラックスな気分で楽しい旅行を……………サロンバス



観光バス

オールリクライニング・冷暖房完備  
カラオケ装備・快適な内装

タクシー

■ 福山営業所(0849)23-3311 お電話で  
■ 府中営業所(0847)45-7111 ご予約をどうぞ



あすをひらく快適で便利な足

アシナトランジット 株式会社  
本社：広島県府中市鶴飼町700-8 〒726 電話(0847)45-6666

日本国内ばかりでなく、広くヨーロッパやアメリカで  
ご好評いただいている、カワイグランドピアノ

ただ美しい音色を完成させるためだけに材料と、手間と、時間を

惜しみなく注いだ、世界のグランドピアノ……………

**KAWAI**

クラフトマンの熱情とカワイの思想を、ここに結晶させました。

ピアノを選ぶとき、そしてアフターサービスもカワイピアノセンターがお役に立ちます。

(株)カワイ福山ピアノセンター(株)河合楽器製作所 福山店  
福山市元町15-20 TEL.代表(22)4998

—グランドピアノ専門の竜洋新工場から—  
世界のピアニスト、音楽家に捧ぐ



KK 株式会社 河合楽器製作所

本社 浜松市寺島町200番地 TEL.(0534)54-2131代表

塗料と塗装機器設備



塗料全般・各種接着剤  
家庭用塗料

**ス松ペイント株式会社**

本社 ● 福山市卸町18番地 TEL (0849) 53-8210(代)  
営業所 ● 福山・府中・松永



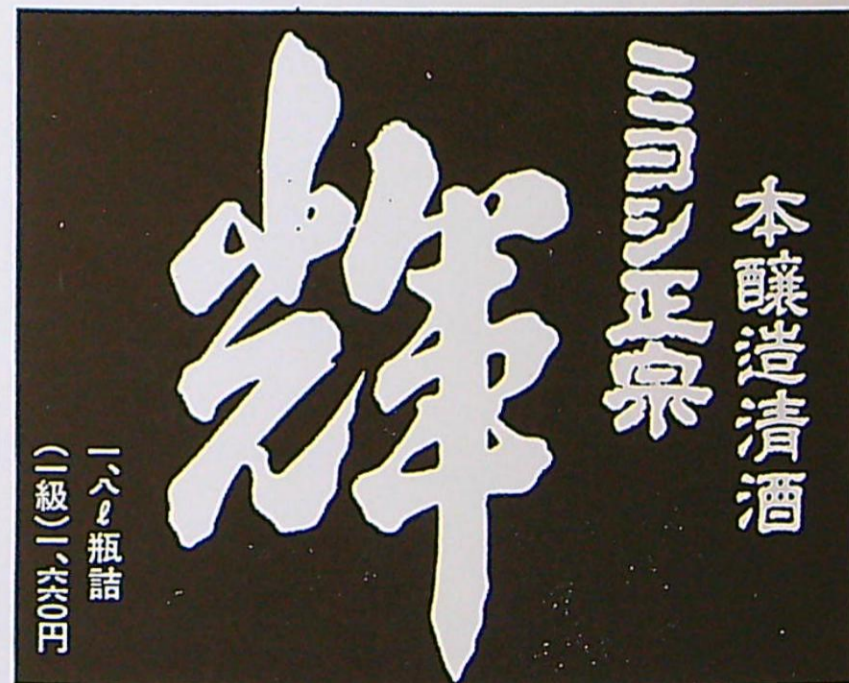
# ひと味ちがう本醸造 キラリ輝いて新発売

普通酒なみの価格

¥1,800(1.8ℓ詰)

独特の醸造法による本醸造清酒の傑作。  
普通酒とひと味ちがう口あたりは、辛口  
し好の方にも大もて。ミヨシ正宗が、お  
酒のシーズンにむけて造りあげた味の逸  
品です。まろやかな口あたりは、かなら  
ずやご満足いただけるものと思います。  
価格面でも、ご家庭向きに普通酒並み価  
格に。

今宵の晩酌に、本醸造ミヨシ正宗<sup>かがやき</sup>「輝」  
をご指名ください。



株式会社三吉酒造場 広島県福山市三吉町

# ソカネツ

# 石开磨



日本人の味の追求は限りなく広い。  
その限りなく広がる味の原点を  
私たち日本人は「海の幸」に発見した。  
伝統の味、まごころこめて  
今、カネツラインナップ——  
日本人の味の原点がここにある。

伝統の味、こころにしみる味づくり——

## 豊田水産加工株式会社

本 社 広島県福山市御船町2丁目2番26号 TEL(0849)23-0859  
東京営業所 東京都練馬区豊玉南3の31 TEL(03)992-0534  
神戸営業所 神戸市長田区长田町2丁目4の6 TEL(078)642-1585

二期会中国支部  
OPERA